

令和7年度 兵庫県立農業高等学校(定時制課程) 学校自己評価

[令和8年1月実施]

スクール・ミッション		「ゆたかな情操 たゆまぬ研鑽」の理念のもと、21世紀の日本の担い手としての自覚と豊かな創造性及び人間愛を備え、自らが主体的に判断、行動し、未来への道を切り拓き、社会で活躍できる人材を育成する。						【評価】 A：3.6以上 B：3.2～3.5 C：2.8～3.1 D：2.4～2.7 E：2.3以下									
グラデュエーション・ポリシー		(1) 互いを思いやり、尊重し、命や人権を大切にできる豊かな情操や徳性を持つ人を育成する。 (2) 基本的生活習慣の確立、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れた、社会的自立に必要な自主性・社会性を持つ人を育成する。 (3) 正しい社会観・人生観を身につけ、自らの人生を切り拓く力を育成する。				【評価基準(目安)について】 教員対象 → 取組指標 生徒対象 → 成果指標											
領域等	評価の観点	評価項目		実践目標		評価基準				評価人数(20人)				平均	昨年度平均	評価	評価
						4	3	2	1	4	3	2	1				
学校運営	開かれた学校づくり	1	広報活動(情報発信)の積極的展開	HPの更新や中学校訪問等により、本校への関心と理解が深まるよう努める。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	10	9	1	0	3.5	3.4	↗	B	
		2	家庭や地域との連携強化	学校行事等を通じて保護者や地域と連携し、協力を得ながら教育活動を行う。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	6	13	1	0	3.3	3.3	↘	B	
	生徒支援	3	規律ある学校生活の確立	マナーを理解し、基本的生活習慣が確立した生徒を育てる。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	5	12	3	0	3.1	3.1	→	C	
		4	生徒の内面理解を図る指導の工夫	個人面談の実施や声掛け等により、生徒の内面への共感的理解を深める。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	7	11	2	0	3.3	3.2	↗	B	
		5	いじめの未然防止	全教職員の協力体制の下で、「いじめを生まない土壌づくり」に努める。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	4	16	0	0	3.2	3.1	↗	B	
	進路支援	6	進路支援体制の充実	3(4)年間を見据え、進路支援部と全教職員が連携し、組織的な進路支援を行う。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	8	10	2	0	3.3	3.3	→	B	
	教職員の資質向上	7	計画性を持った研修の実施	学校・生徒が抱える諸課題について、校内研修を計画的に実施する。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	4	13	2	1	3.0	3.3	↘	C	
		8	社会の変化に対応した教育観の育成	社会の変化やニーズ、教育の新しい動向に対応しようとする教員の育成に努める。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	5	10	4	1	3.0	2.8	↗	C	
	危機管理体制の整備	9	実効ある危機管理マニュアルの策定	実情に応じて危機管理マニュアルの適宜見直しと改善を図る。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	5	13	2	0	3.2	3.1	↗	C	
		10	教員の実践的な研修	救急救命講習の実施等、危機対応や生徒の心のケアについての適切な研修を行う。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	7	13	0	0	3.4	3.1	↗	B	
	保健指導	11	適切な保健指導体制の確立	生徒の健康情報を教職員が共有し、学校全体で生徒の保健指導、健全育成にあたる。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	5	14	1	0	3.2	3.3	↘	B	
		12	心と体の健康の両立	心身の不調を訴える生徒に対して、きめ細かな相談と支援を行う。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	9	9	1	1	3.3	3.3	→	B	
	学校運営全般	13	学年・学級経営	教育目標を踏まえた学年・学級の経営方針を立て、その実践に努める。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	8	11	0	1	3.3	3.2	↗	B	
教育課程	基礎・基本の定着	14	基礎学力の定着指導	学び直しによる基礎・基本の定着を図る指導がなされ、生徒の学習意欲が高まっている。	大多数の生徒ができている	半数程度の生徒ができている	一部の生徒に限りできている	ほとんどの生徒ができていない	11	8	1	0	3.5	3.3	↗	B	
	総合的な探究の時間	15	創意工夫を凝らした効果的な実践	生徒が自己と向き合い、在り方生き方を考えようとしている。	大多数の生徒ができている	半数程度の生徒ができている	一部の生徒に限りできている	ほとんどの生徒ができていない	10	9	1	0	3.5	3.1	↗	B	
	個に応じた学習指導	16	授業研究の推進	シラバスの作成・活用と評価方法の工夫がなされ、授業改善が行われている。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	11	7	2	0	3.5	3.3	↗	B	
	特別活動	17	自主的・実践的な活動の活性化	ホームルーム活動や生徒会活動に生徒が自主的に参画し、協働している。	大多数の生徒ができている	半数程度の生徒ができている	一部の生徒に限りできている	ほとんどの生徒ができていない	11	7	2	0	3.5	3.3	↗	B	
	3 修制授業の運用	18	生涯基礎及び奉仕活動の内容充実	生涯基礎の学年毎の指導内容の明確化と、奉仕活動の内容の充実を図る。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	9	11	0	0	3.5	3.3	↗	B	
教育課題	防災・安全教育	19	交通安全指導の推進	交通ルールを遵守させる指導を通じ、自他の生命と安全を守る意識を育む。	大多数の生徒ができている	半数程度の生徒ができている	一部の生徒に限りできている	ほとんどの生徒ができていない	13	5	2	0	3.6	3.5	↗	B	
		20	防災教育の推進	実践的な防災避難訓練等の実施により、生徒の防災意識を高める。	大多数の生徒ができている	半数程度の生徒ができている	一部の生徒に限りできている	ほとんどの生徒ができていない	13	6	1	0	3.6	3.5	↗	A	
	人権・道徳教育	21	確かな人権意識の育成	学校生活のあらゆる場面で、生徒の身近な問題から人権を尊重し合う態度を育てる。	大多数の生徒ができている	半数程度の生徒ができている	一部の生徒に限りできている	ほとんどの生徒ができていない	10	6	3	1	3.3	3.3	↘	B	
		22	人権・道徳教育推進体制の充実	3(4)年間を見通した人権HRや講演会を計画し、実施する。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	12	8	0	0	3.6	3.3	↗	A	
	情報教育	23	情報モラルの育成	生徒がネット依存やネットトラブル等に陥らないよう、情報モラルを育成する。	大多数の生徒ができている	半数程度の生徒ができている	一部の生徒に限りできている	ほとんどの生徒ができていない	7	8	2	3	3.0	3.1	↘	C	
	学校の特色化・個性化	24	「県農定時制キャリア教育プログラム」の推進	個に応じた社会との接続を意識した組織的・系統的なキャリア教育の充実と努める。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	10	10	0	0	3.5	3.3	↗	B	
		25	高校生心のサポートシステム研究開発	自殺予防について、重層的支援を行い、生徒の危機回避能力等の醸成を図る。	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	8	11	1	0	3.4	3.1	↗	B	